

# ひゅーまん ねつとわーく

# 地域に生きる

2007年7月 発行 / 第30号

社会福祉法人北摂杉の子会 社会福祉法人北摂杉の子会後援会 萩の杜家族会 ジョブサイトひむろ家族会  
ジョブサイトよど家族会

〒569-1054 大阪府高槻市大字萩谷14番地1 TEL 072-699-0099 FAX 072-699-0130 info@suginokokai.com



ひむろメンテナンスグループ（施設清掃業務班）始動！  
左より、メンバーの林恵子さん、中川スタッフ、メンバーの永田泰士さん

# JS ひむろメンテナンスグループが 始動しました!!

## ジョブサイトひむろ

ジョブサイトひむろは現在「知的障害者通所授産施設」という位置づけで運営していますが、なるべく早い時期に新事業体系への移行をしていきたいと考えています。新体系では「就労移行支援事業」「生活介護事業」の二つの事業の実施を予定しており、ジョブサイトひむろとしては就労にはますます力を入れていかなければならない状況です。

まずその一つの取り組みとして、4月中旬より、建物内の清掃を基本業務とする「メンテナンスグループ」を始動させました。ステップとしては、いきなり外部の客先へ行くのではなく、まずは法人内施設において実習に近い形で業務を行いながら、将来的には外部の客先へ訪問できるようにスキルを積んでいくという方法をとることにしました。法人内の実習・客先現場としては、ちょうど清掃に人手が足りないことが悩みであった、生活施設である萩の杜を選びました。

萩の杜は50人規模の施設で、4つのグループにわかれています。各グループにリビング、トイレ洗面所などがありますが、各グループのトイレ、洗面所、廊下、リビングなどの清掃、それに窓拭きなどの作業を行っています。始めてから4ヶ月ほどが経過していますが、決して手を抜くことなく、とても積極的に業務をこなしていただいています。

### ～準備をする上で大切であったこと～

現在、振りかえって、大切であったと感じることは、利用者さんと一緒に事前オリエンテーションをする時間をもったということです。私たちが新しい職場で仕事を始めるときとっしょで、事前に見学をして研修をするということにとっても意味があると感じました。不十分なオリエンテーションであったかとは思いますが、それでも利用者さんなりにイメージをし、いくらかの心構えをもっていただいた中でスタートを切ることができたと思います。

### ～モチベーションアップのアイテム～

まず名札を作成し、つけていただくようにしました。はじめは、萩の杜のスタッフに名前を覚えていただくことが目的でしたが、利用者の皆さんにとっては、ひむろから出て新しい仕事をするんだという意識の後押しとなったようです。また、ユニフォームも同様です。周りから、そして自分自身でもメンテナンスグループの一員であるということを確認できるものとなり、おそらく身が引き締まる思い!? だったのではないかと思います。清掃員として、作業内容に先んじて、名札や服装という、まずスタイルから整えたのですが、少しずつその本来業務の方も本物に近づいていると思います。また、給料の面でも、外部での作業であることことから、給料アップになっています。しかし何より、メンバーの皆さんのモチベーションアップをもたらしたのは、顧客である萩の杜スタッフからの声かけだったようです。自分たちが働いている意味を肌で感じ取れたのだと思います。

### ～専門スタッフの存在～

現在は、毎日ひむろから2名(水・金のみ3名)の利用者さんと1名のスタッフで清掃にあたっています。メンテナンスグループを始動させるにあたり、大手専門清掃業者での実務経験のあるスタッフを新しく迎えました。専門性の高いスタッフに率いられて、利用者は「何となくの掃除」ではなく「ポ

イント、ポイントを押さえたプロレベルの仕事」を覚えていっています。今ではある程度指示がなくとも、作業を行えるようになってきています。スペシャリストスタッフの存在により、清掃ノウハウの蓄積が可能となってきているなかで、今後のメンテナンスグループを発展させていくために、いかに多くのノウハウを、利用者が行う現場の中で取り入れていけるかが課題ですが、なるべくプロのレベルを維持する形でバランスよく取り入れることを考えていきたいと思っています。

初めに入られた利用者お二人から、感想・抱負をお聞きしました。

林さん) 事前に仕事場を見学していたので、わかりやすかったです。いっしょに働ける仲間(掃除チームの一員として)ができたことが嬉しいし、仲間が増えたら、もっと嬉しいです。お風呂掃除も好きです。大変なことはあまりないです。これまで長い間洗濯の仕事をしていましたが、面談をして、掃除の仕事に移ることに決めました。今後はもっと働いて、もらえるお金を増やしたいです。

永田さん) 仲間といっしょにできるから、仕事は楽しいです。今後はもっと仕事を頑張りたいです。

林さん、永田さん) (現場担当スタッフの) 中川さんに会えたことや、萩の杜の職員に会えたことが嬉しい。「お願いします」と言ってくれる! 頑張る気が湧いてくる!

#### ～インタビュー後の感想～

とても意欲的で、前向きな話が聞けました。今のところ順調に仕事をつとめていただいていると思います。しかし、今後は失敗することや「大変だなあ」と感じることもあるかもしれません。しかし、この意気込み…それらを乗り越えていってくれると思います。何よりもインタビューの最後のお二人のコメントが印象的でした。これからもどうぞ温かく見守ってください。

#### ～最後に～

現在メンバーは、毎日いきいきと清掃業務に励んでいます。精一杯働いている姿を見ているといろいろな形にとらわれずに働ける場所の開拓を進めていく必要があると感じます。利用者の皆さんが、誇りをもって、また将来に希望をもって働けるような環境を提供できるようにしなければなりません。メンテナンスグループは、まだまだ発展途上です。まずは始動させた今、今後は少しずつまずは萩の杜内での清掃箇所を拡大することで、メンバー増員や利用者の実習場所としてもうまく利用していき、将来へつなげてきたいと思っています。自立支援法でも謳われているように、今後は地域移行とともに就労支援も充実していかなければなりません。様々な形で利用者の皆様に働く場を提供していく必要があると感じています。

メンテナンスグループを軌道にのせていくということは、今後のひむろの就労支援を進めていく上で、一



トイレのタイルを磨きます。隅まできっちりと手を抜きません。



つの支援のノウハウを構築することでもあると思います。

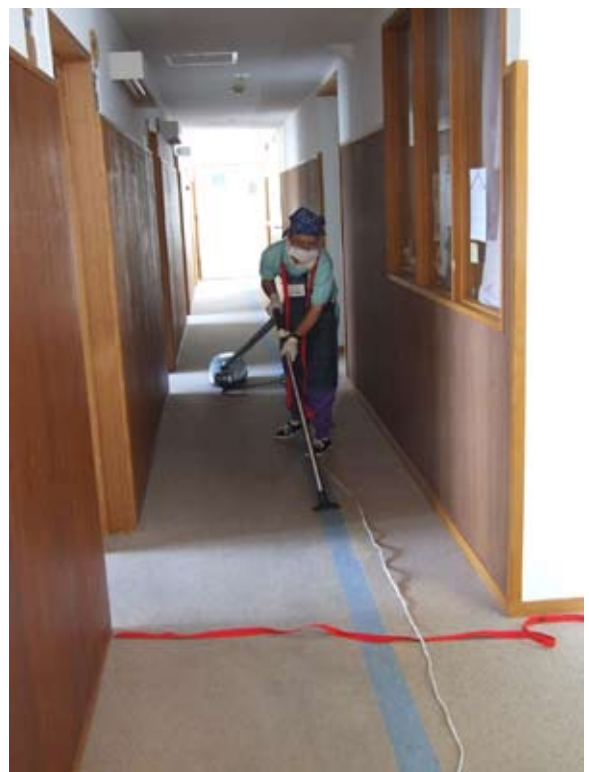
まだ、スタートしたばかりですが、支援者であるジョブサイトひむろのスタッフの意見のみならず、顧客発想により萩の杜スタッフや萩の杜保護者の方々の意見をも取り入れ、連携しながら、利用者の皆様の働きやすい環境を整えていきたいと思っています。

#### ～スタートまでの準備について～

- ①メンテナンスメンバーの検討
  - ・本人への説明
  - ・親御さんへのアナウンス
- ②通勤方法の検討
  - ・萩の杜までの通勤ルートの確認
- ③萩の杜スタッフとの打ち合わせ
  - ・清掃場所の整理
  - ・拠点として使用させていただける場所の確認
  - ・食事場所の確認
  - ・清掃の順番の確認
  - ・使用物品の確認
  - ・窓口スタッフの依頼
- ④清掃用具の準備
  - ・必要備品のリストアップ
  - ・購入
- ⑤オリエンテーションの実施
  - ・仕事場所の案内
  - ・萩の杜のスタッフとの顔合わせ
  - ・通勤ルートの確認
  - ・掃除のシュミレーションを通し必要物品を一緒に検討
- ⑥萩の杜のスタッフに利用者の情報提供
- ⑦メンテナンス担当スタッフとの打ち合わせ
  - ・萩の杜への清掃報告書作成



窓みがき中。スプレーしたあと丁寧にふき取ります。



掃除機をかけます。廊下の広いスペースをひもで区切ることで、やり残しなくできます。

## IMSプロジェクト終了報告

18年度の厚生労働省の助成を受けて、I (ippo プロジェクト) M (三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社) S (北摂杉の子会) の3者にて進めてきたIMSプロジェクトも、3月の年度終了にて、プロジェクトも終了いたしました。3者それぞれの立場からの振り返りをもって、誌上でのプロジェクト終了報告としたいと思います。

### 厚生労働省助成内容

【テーマ】『実業を通じた自立型福祉施設の就労支援力強化に関する研究』

【助成額】 14,000,000円

【概要】 ippoプロジェクトの手がける「cafe sante! 贅沢野菜のバランスランチ」の製造・出荷工程を当法人施設(ジョブサイトよど)にて行ってもらい、自閉症などの障害のある方(ジョブサイトよど利用者)が、うけ負える工程から部分的に受けていく中で、どういった工程が向いているのか探り、同時に調理スキルを身につけていってもらうというもの。企業コンサルタントの目加わることにより、「営業企画」「工程管理」「モチベーション管理」などの民間企業のノウハウを福祉施設に取り入れることを可能とした。

### ippoプロジェクト 代表 福井佑実子 氏より



障害者のノーマライゼーションを目指し、「cafe sante! 贅沢野菜のバランスランチ」を通して、積極的に実践している。

<http://www.ippo-project.com>

<http://www.cafesante.jp>

平成18年度障害者自立支援調査研究プロジェクトを終え、半年という短い期間にもかかわらず価値の高い意義ある内容であったことを振り返り実感しております。

「障害のある人たちはできることがたくさんあり多くの可能性を秘めている、その能力を活かす場を示し、彼らの社会での活躍の場がひろがったらいい」と理想をかかげプロジェクトに参画しました。理想を形にするため、プロジェクトでは雇用者側となる社会・企業が認める厨房内衛生レベルの固守にはじまり企業側の視点を徹底することが任務であると心に留めプロジェクトを遂行しました。高い衛生レベルと商品の品質を保つことで、プロジェクト参画メンバーのご苦勞が絶えずいくつもの山を乗り越えてのプロジェクト終了であったことをあらためて感じております。

プロジェクトでは衛生管理の徹底を前提に、障害のある人の得意・不得意を整理するため、最終の味付け工程以外すべての工程に参画していただきました。具体的には、野菜の下ごしらえからお弁当の盛りつけにはじまり、洗い場、宅配準備、在庫チェックに至ります。プロジェクト開始時、大きな声で挨拶をすること、人の目をみて話すことが難しく、衛生的な作業着の着用や手袋の着用、複数の作業を遂行することへの抵抗や拒否反応がみられてのスタートでした。彼らが働きやすい環境整備(マニュアル整備や視覚提示等)を並行させ、施設職員さんの厳しく愛に満ちた根気強い指

導のもと、プロジェクト中盤には、大きな声で挨拶すること、人の目をみて質問・返事ができることはもちろん、衛生手洗いや作業着・手袋の着用、複数の作業を遂行できるようになりました。毎回お弁当の販売日にはお客様に指定の量を指定時間までに宅配することを厳守するため、宅配時間が近づくにつれ厨房内には緊張感が漂います。プロジェクト終盤には、場の共有がうまれたのか、作業面以外に、自発性、協調性、責任感、といった仕事への姿勢がみられるようになりました。納品時間に間に合わせるためにみなで作業を分担することや協力すること、変更への対応、洗い場やゴミ捨てなどに自発的に取り組む姿、開始時間より早くから厨房に来て準備するといった自発性もみられます。ここに至るまで数々の困難がありましたが、最終的には、大手企業の機関誌や食や健康の専門サイト等に取り上げていただくほど社会・企業に認められるレベルに達することができたと思っております。「こんなことも、あんなことも、できる」ことを示せたらと思っておりましたが、それ以上に自発性・協調性・責任感など彼らの可能性の深さを見ることができたことが今回のプロジェクトの大きな成果であったと思っております。今では、実践に近い環境や適切な指導によって彼らはさらに成長すると実感するに至っております。また、今年度から福祉施設では自立型事業を開発されるとのこと、それこそが「自立型福祉施設の調査研究プロジェクト」の最大の成果であると存じ、施設の今後のご活躍とご成功を心より祈念しております。今後はプロジェクトに参加させていただいた経験をもとに、いち民間事業者として障害のある人の活躍の場づくりに継続し取り組んでいく所存です。「みなができることを少しずつ実践することで、ノーマライゼーション社会は実現する」。小さな一歩が誰かの一歩につながり、世の中にたくさんの取組みが次々に生まれ





厨房での食品衛生や実業を通じての調理作業のスキル、現場の緊張感、顧客発想からの事業組み立てなど、福祉の現場にいながらその中でそれらの多くの知見を得る機会となったことは、大変貴重な経験となりました。また、これまではどうしても福祉分野での視点になりがちなところを、よりビジネスの第一線の感覚で考えることができるように近づいたことも大きな財産となりました。

実業を通して学んだことは多くありますが、利用者の方々にとっては、特に職場の中でのマナーやルールを守る、挨拶・連絡・報告をする、といった当たり前のことが、実は作業そのものよりも難しいのだということが明確になりました。また、仕事そのものの意味、なぜ仕事をするのか、仕事を頑張ることの意味などを理解して取り組んでいくことが、さらに難しく課題でもあったように思います。

しかし、利用者さんは、自分に期待されていることが明確になっていれば本当に自立して、自発的に作業を行うことができると実感しました。それに自分の役割であると認識して仕事をするときには、大変な仕事であっても楽しんで仕事をされている姿がありました。利用者さんが働きやすように環境を整え、できること、できないことの整理を行い、職場の中で如何に強みが発揮できるのかを考え支援していく、そのことの大切さをあらためて考えさせられました。

今回、厨房での作業は誰もが初めてであり、厨房着をきっちりと着用することからがトレーニングの始まりでした。安全衛生面での徹底の大変さや1日4時間あまりの立ち仕事の経験、出荷時間に間に合わせるための工夫、モチベーションのあげ方など次から次へと課題はありましたが、一緒に仕事をしていく中でその支援方法を考え行えたことは今後のよどの調理作業においても、大変意義深いものになりました。また、「自閉症・発達障害の方に適した職域」をテーマにしたブレインストーミング（自由な発想で智恵、アイデアなどを出し合うことを目的とした会議）などを通して、利用者さんの強みや特性を生かした職域開発の方向が見えたと思います。

プロジェクトは3月で終了しましたが、そこで得た成果のファーストステップとして現在、よどで調理を行っていただいている給食業者の中央フードサービス

様にご協力をいただき、プロジェクトで培った洗い場でのスキルをそのまま使って、給食用厨房で洗い場の実習をさせていただいております。同じシステムを使っていけば、場所が変わっても利用者の方は不安なくすぐに作業を開始されました。挨拶や衛生管理などもプロジェクトで行ったことが生きていると実感いたします。利用者さんにとっては活動の幅が広がり、できる自信がさらに深まっているのではないかと思います。

プロジェクトにて調理の作業を経験したことで、今後のよどにおける自立型の事業に向けての利用者の方へのアセスメントも兼ねることもできました。そして、基本的な環境整備が行えたと思います。

最後になりましたが、厨房でともに作業いただき、現場指導いただくことになったippoスタッフの皆さんは、自閉症・発達障害の方と間近に接するのが初めてということでした、それぞれの障害特性や個性などを説明させていただきましたところ、理解していただき、協力していただく事ができました。そのおかげあって、プロジェクトがうまく進んでいったのだと思います。プロジェクトの利用者のみならず、よど全体の利用者さんに対してまでご配慮いただき、本当にありがとうございました。また、現場を見守りつつ適時にご助言いただき、プロジェクトに方向づけをくださいました、三菱UFJリサーチ&コンサルティングの関原様にも、感謝申し上げます。

利用者さんをはじめご家族の皆様、そしてよどの家族会の皆様には、プロジェクトを遂行するにあたり、ご理解やご協力を多分に頂き、本当にありがとうございました。

このプロジェクトを無事終えることができましたのは、よどに関わられるすべての方々のご協力があったことと感謝致してしております。

今後よどが自立型福祉施設として営まれていくに当たっては社会の流れや様々な情報をすばやく取り入れ、私たちが必要な情報を上手くくみ取り、それらを福祉の現場でどう取り入れるかを考え、創造し、発信していくことを常に視野に入れながらやっていかなければならないのだと実感しました。

今後たくさんの方々のご支援を受けられますよう努力し、今回培った成果や課題をふまえて、自閉症・発達障害の方々への職域開拓に力を注いでいきたいと思っております。

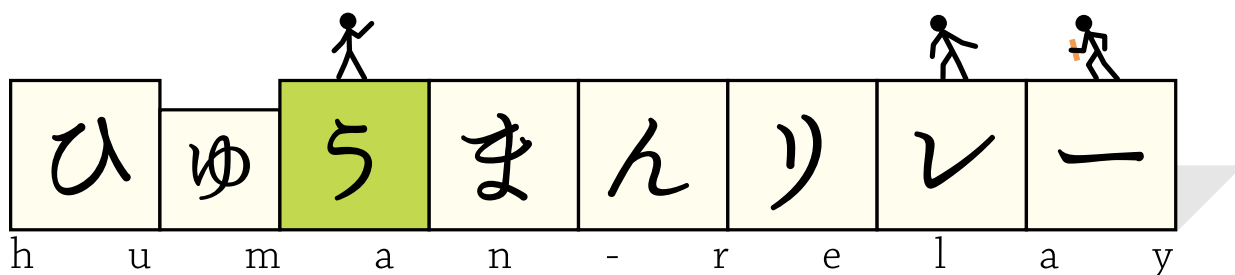
## プロジェクトを終えて

社会福祉法人 北摂杉の子会 常務理事 松上 利男

IMSプロジェクトが多くの皆様のご理解とご協力により、無事終了いたしました。当法人といたしまして、衷心より皆様にお礼申し上げます。また福井様、関原様はじめ、本プロジェクトメンバー、アドバイザーの皆様にご礼申し上げます。それぞれの終了報告にありますように本プロジェクトを通して、多くの成果を得ることができました。この成功は「高い志」と「利用者者に学ぶ」という姿勢と協働の力によるものと存じます。このプロジェクトで得られた成果を今後の利用者支援、法人経営に生かし続け、そのことを、皆様への感謝のお礼としたいと存じます。ありがとうございました。

本プロジェクトの終了報告書(64ページ冊子)が刷り上がっています。ご希望の方は、宛先記入・切手貼付(240円分)いただいたA4サイズ返信用封筒をお送りください。数に限りがありますので、事前にご連絡の上送付いただきますようお願いいたします。

送付先:  
560-1054 大阪府高槻市大字萩谷14-1  
北摂杉の子会 総務部 IMS報告書係 あて  
問い合わせ:  
072-699-0099 総務部(萩の杜内)



奈良県 社会福祉法人青葉仁会 理事長 <sup>あおはに</sup> 榎原 <sup>さかきばら</sup> 典俊さんより

## 晩 春

春は過ぎた。太陽の光を透かして柔らかく輝いていた若葉は、日差しを遮り涼しく深い影をつくる。私は夏が好きだ。いや夏までが私の好きな季節のピークなのかも知れない。木枯らしが去り、冬の景色が野山から静かにはじけだす春、堅く冷たい流れが緩みだす時、その季節になると、私の心も芽吹きとともに太陽に向かってぐんぐんと伸びていった。

今は六月の初旬。桜も緑一色となり、色とりどりに絢爛という春は過ぎたが、さりとてまだ夏ではない。晩春という言葉はあまり耳慣れないが、そよ風に揺れながらやわらかく輝いていた若葉は急激に厚く、濃く、強く、そして生命力にあふれた夏の葉に「ザワザワ」と変わっていく。

ある日、私は突如としてこの「ザワツ」とした感覚に襲われた。郊外を車で走っていた時のことだ。得体の知れない感覚、それも大きな存在感を感じさせる何か「ザワツ」とした感触をもった何かには私は雷のように打たれた。その感じは、身の毛がよだつ、鳥肌が立つという言葉があるがその両方を持ち合わせ、一瞬にして押し潰されてしまうようなものだった。

いったい何事が起こったのかわからず狼狽した。原因を探して迷う目に飛び込んできたのは「ザワザワ」と響き立ち、波打ちながら押し寄せようとする樹々の群れだった。それは無数の千手観音が手を伸ばして押し寄せようとするのに似ていた。圧倒する生命感に押し潰されてしまう。そんな感じだった。その時、私は生まれて初めて夏が「しんどい」と思った。

どこかで記憶が呼んでいた。何かがあった。いつの記憶だろう。

私は押し潰されていた。暗い小さな部屋のベッドの上で。

柵のついた鉄パイプのベッドは強い力で私を縛り付けていた。平生の生命感もなく、抵抗感の失せた身体は床と天井との間に挟まれていた。日々その間隔は狭くなり、かろうじてできた隙間に身動きもできずに挟まれていた。それが最初に思い出した記憶だった。

私はその病室で二月から夏までを過ごし、そして照りつける真昼日の中をかつての自分ではなく別人では、としか思えない足取りでそろりと退院した。

病院にいる間は思うように動かない身体のことを除いて、その他のことはあまり気にならなかった。今にして思えば、その中でひとりの人間として存在する条件が整っていたからかも知れない。治療する者とされる者、見舞いや訪れてくる家族たち、そして健常ではないことを共有する仲間



たちがいて、そこには一つの共同体があった。共に目的はひとつであり、そこに集う者たちには共通の思いがあった。朝に顔を合わせ挨拶をし、医師の言葉や体調に一喜一憂を繰り返し、涙あり笑顔あり、そして早い夕食とともに一日は暮れていった。自宅には早く戻りたいという思いはあったが反面、同じ人生を共有する者たちと集うことは心の支えでもあった。そこには当然、先輩もいて日々後輩も増えていった。それは仲間同士で教えられ、支えられることもあれば、教え、支えることもある共助の社会でもあった。そこが内科ではなく、亡くなる人が稀であることも幸いしたのかも知れない。互いの明日を計り合う生命の怯えはなかったからだ。一過性で済むかどうかは別にして、みんなが障害というレベルに留まっていたということもあるだろう。

退院して自宅に戻るとホッとほしたが、それは長くは続かなかった。外にも自由に出入れず、他の人たちとの関わりもなく日がな庭を眺めて過ごした。本の中の虚構の世界もあるべき世界とのバランスがあつてこそであった。自宅とは違って病院では自然発生的とは言え役割があつた。どれもたいしたことではなかったが、役割という機会を喪失した時、それらが日々を生きる上で、いかに大切なものであつたかと思わずにはおれなかった。ひとりであるようになって初めて不安を感じた。それは病院での治療に関する身体上の不安ではなく、社会に存在する不安だった。他者というから自分という存在を知っていた。ひとりになってしまうと自分の存在は限りなく薄れていった。薄れていくことは自分が社会から消えていくような不安との共存であつた。外界との関わりを持たなくなつてホッとするのは、外界との関わりが随意に保障されているからだ、ということを知つた。

何とか持ちこたえたのは所得保障がなされていたからだろう。根本的な生活費の不安がなかつたことは大きなことだ。所得という経済的な繋がり、外界との生命的な深い絆であるのかも知れない。

障害者自立支援法は施設から地域（在宅）への強制、一般就労を施策の柱とした自立と自助、所得無き応益負担、申請主義と利用規制、施設生活の否定から始まる制度の枠組み、訓練による成果主義、どれをとっても将来不安がつきまとう。入院生活を振り返ってみて、そこに自立支援法が適用されなくてつくづくよかったと思う。障害者の問題は明日の人々の未来に通じるように思えてならない。

近江の国、琵琶湖のほとり石山の里に「しが夢翔会」の更生施設「ステップ広場ガル」がある。その施設長である藤木充さんは、私の福祉の先輩であり親友だと思っている。熱い思いを静かに語り、慌てず騒がず大胆に行動する。全く私と逆かも知れない。その意味において次には彼こそと思ひお願いしている。乞うご期待。





# 構造化のアイディア

## パート2 時間の構造化(スケジュール)

自閉症支援部 療育支援課  
課長 谷 岡 とし子

自閉症の人は、見えないものや概念を理解することに困難さがあります。時計の数字は読めても「ちょっと待って！」のちょっと！が、どれくらいの時間なのか、昨日(きのう)・今日(きょう)・明日(あした)の意味がわからなかったりします。また、変更が苦手でいつもの生活パターンが少しでも崩れるとかんしゃくを起こしたり、機嫌が悪くなるというのもよく耳にする話です。これは、時間という目に見えない概念の理解に困難があるためです。目に見えない「時間」を目に見える形で視覚的に表すこと(スケジュール)で時間の概念を理解し、私たちと共通理解をすることが可能になります。そうすることで、今までにあったことやこれから起きる事柄について見通しをもち、私たちと情報を共有できる手がかりとなり、新しい環境や変化が起きた場合にも新しい状況への適応を助けます。時間をわかりやすく伝えることを、「時間の構造化」と言います。

シリーズ「構造化のアイディア」の第2回目は、「時間の構造化」について具体的な事例をお伝えしたいと思います。

時間をわかりやすく伝えるとは、生活に必要な情報「いつ」「どこで」「だれと」「なにを」「どれくらいするのか」「いつ終わるのか」「終わったらどうなるのか」などをわかりやすく伝えることを意味します。これらの情報を、一人ひとりの理解力や特性の理解に合わせてわかりやすく伝えることが重要です。

### 一人ひとりに合わせた、時間の情報の伝え方

#### 【スケジュールの提示方法】

まずは、今の生活の流れを時間軸に沿って書き出してみましょう。それを、物や写真・文字で表すことが、無理の無いスタートです。

#### ■提示手段(何で示すか)

- ・実物を見せる⇒食事はおちゃわん、歯磨きは歯ブラシ、学校はランドセル、プールはプールバック…等
- ・絵や写真⇒スポーツセンターはトランポリン、スーパーはマークなどを写真や絵にする・
- ・単語⇒ごはん、お風呂、がっこう、ビデオ…等を文字で書く
- ・文章⇒ごはんをたべる、ひまわりでホットケーキをつくる・・・等文章で書く

**ポイント!** 眠たい時も機嫌が悪い時も使用するものです。無理なく確実にわかる方法で示しましょう。

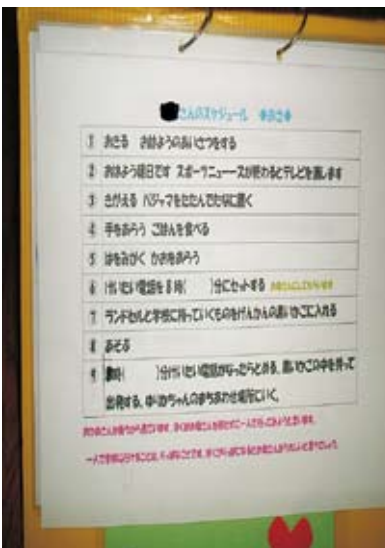
#### ■一度に示す長さ(上から下、または左から右)

- ・次にするものを一つだけ提示
- ・次にするものを二つだけ提示(まずは、お風呂それからアイスクリームなど)
- ・一日の部分を提示(おきる→顔洗い→せいふく→ごはん→学校…)
- ・半日を提示(おきる→顔洗い→ごはん→着替え→公園→マクドナルド→おうち…)

**ポイント!** 一日の流れがわかってきたら、一週間や一ヶ月の理解も可能になる人もあります。また、時計が理解できたら、スケジュールに時刻を入れるとより見通しがもちやすくなり自立した行動につながります。

**ポイント!** 一つから二つの流れの理解は難しいものです。あせらず、丁寧に移行しましょう。

## スケジュールのいろいろ!!



### ■スケジュールのQ&A

Q：写真を使って予定を伝えたり、コミュニケーションをしていると今後言葉が出なくなったり、するのではないかと不安です。また、その生活を続けていると今後の生活において、それが使えない環境で生活することが困難になるのでは！と聞いたりして心配ですが…。

A：活動や言葉の意味の理解が困難な自閉症の方に、写真や文字などの手段を補うことで、わかりやすくなります。また、言葉以外の補助手段を用いることで意味がわかってくると、自信をもって自分からコミュニケーションをとろうとする意欲が芽生えてきます。そのことにより言葉の発達にも良い影響があります。従って、カードを利用することで言葉が出なくなることはありません。

自閉症の方にとって、視覚的に情報を伝えることはとても大切です。周りの人と意味を共有することで生活が改善できるだけでなく、将来においても写真のスケジュールなどの利用で見通しが持てるので、就労する時にもとても役立ちます。従って、将来それをなくす方向で考えるのではなく、身体の不自由な人の車椅子と同じように、自閉症の人が生活に見通しをもち、自立して行動するための『生活の必須アイテム』として周囲の人が理解し受け入れていくことが大切です。



# 平成19年度 厚生労働省助成 障害者自立支援調査研究プロジェクト 採択 (内示)のご報告

厚生労働省助成・障害者自立支援調査研究プロジェクトにつきまして、昨年度につづき、本年度も、2件のプロジェクトの採択内示をいただきました。プロジェクト概要についてご報告いたします。

## 案件1

### 【事業名】

自閉症・発達障害者のスキル&モチベーションを高めるOJT/Off-JTおよび管理方法の開発

### 【内示額】

10,500,000 円

### 【概要】

過年度の同助成研究プロジェクト「実業を通じた自立型福祉施設の就労支援力強化に関する研究」(IMSプロジェクト)での「役割期待」がスキル&モチベーションを高める」との研究結果をふまえ、昨年にひきつづき、ジョブサイトよど4Fの調理場を中心現場に、「仕事に関する概念づけ」をOJTおよびOff-JTにて行い、自閉症者、発達障害者のスキル&モチベーション管理方法を開発するもの。

### 【本プロジェクトの試み】

本プロジェクトでは、前年度の弁当事業の中で好評であった「コロケ」を中心とした食品加工事業を施設内にて立ち上げ、製造・販売(卸)する。各製造工程における作業スキルは、昨年度の実績により見込めるものとなったが、納期も決まった実業を行う中で、より「仕事とは?」というところに意識がいくようにしながら、「自発的」な動きまで期待する。一方で現場以外のところでも、講義などを通して、仕事をするときの心構えなどを理解してもらう機会を設ける。いくら個々の工程のスキルが上がっても、モチベーションが落ちては結果はいいものとはならない。期待されることにより、モチベーションが持続され、安定した仕事のできる道筋をさぐりたい。

提携、協力パートナー：中央フードサービス(株)  
ほか

いずれも、昨年度の同助成プロジェクトにおきましてIMSプロジェクトとして進めてまいりました「実業を通じた自立型福祉施設の就労支援力強化に関する研究」で重要なポイントとして見えてきながら次への課題とされたことに対し、さらに発展的に取り組んでいくものとなっております。本プロジェクトの経過については、また随時ご報告してまいります。

## 案件2

### 【事業名】

自閉症・発達障害者の特性を活かした高付加価値職域・事業の開発に関する研究

### 【内示額】

7,700,000 円

### 【概要】

自閉症・発達障害者の、特定のことがらに執着しやすいという特性に着目し、「記憶を要する」「基準に正確」「丁寧・きっちり」であることに価値のある業務を選び出した。通常の単純作業などと比して「高付加価値」である職域にて、環境支援などを受けながらのトライアル雇用を行い、実践的な職域開発を実施する。

### 【本プロジェクトの試み】

高付加価値業務に相当するネイルアート、CG、医療、大学、事務系という分野においてパートナー(雇用先)と連携して、実業レベルでの業務参加を通じた、自閉症・発達障害者の就労時における課題の抽出、解決策の検討や、個々人の特性や個性を活かせる職域、業界に関する検討を行っていく。これにより、高付加価値分野における一般就労の道筋をつけ、また一方で受け入れ企業側からの自閉症・発達障害に対する理解が深まることにより、受け入れ可能性も高めていく。

提携パートナー(予定)：学校法人山口学園(ECC)、大阪大学(医学系研究科)、当法人事務系部門、ほか

## 新体系移行・Jブランチ開設のご報告



ジョブサイトよど  
施設長 佐々木 寛 昭

これまで知的障害者通所授産施設として運営してまいりました「ジョブサイトよど」は、5月1日に新事業体系における就労移行支援事業と生活介護事業の2つの事業に移行いたしました。

### 1. 就労移行支援事業について

まず就労移行支援事業は、制度上原則2年間での利用となりますが、よど施設内で作業を行ったり、施設外企業実習を体験する中で、利用者個々の適性に合った職場探しや職場定着に向けての支援を行います。実際の就労現場に近い環境の中で、一般就労に必要な知識・能力を養っていただくことにより職場への就労・定着を図るものです。新体系に移行するにあたり、受け入れ障害を「知的」と「精神」としましたが、これにより、これまでニーズがありながら、なかなか利用いただくことの難しかった高機能・アスペルガー症候群の方々にも、精神福祉手帳をお持ちの方であれば利用いただけるようになり、より社会のニーズに沿った支援ができるようになりました。

また、当法人が大阪府より受託運営する「大阪府発達障害者支援センター アクトおおさか」の就労支援担当スタッフと、よどの就労支援担当スタッフが共同で行っている就労支援プロジェクト「ジョブ・ジョイントおおさか(JJ)」が昨年度より始動したことについて、これまでの号でお伝えしてきましたが、その中ですでに6名の方が企業実習に入られ、就職・職場定着に至る方も出てきています。今後さらにアクトおおさかとの連携を強めながら就労支援力を強化していくために、アクトおおさかに隣接したスペースに、就労が間近な利用者のための作業場「Jブランチ」を今年4月に開設しました。

現在、このJブランチを出発点として、武田薬品工業の関連会社であるエルアイ武田様や南海電鉄の関連会社である南海ハートフルサービス様をはじめとした数社の企業様にご協力をいただき企業実習させていただいております。就労移行支援事業では、今後ますます高まる就労ニーズを受けて、前年度実施した厚生労働省助成プロジェクト「実業

を通じた自立型福祉施設の就労支援力強化に関する研究」での成果を活用しながら、就労実績を積み上げていきたいと考えています。

### 2. 生活介護事業について

一方、生活介護事業は、食事や排泄等の介護や日常生活上の支援、軽作業等の生産活動や創作的活動の機会を提供し、QOL（Quality of lifeの略。生活の質を満足度などからみた指標）の維持向上を高めるサービスを提供するものです。よどは自閉症を主とした発達障害のある方々の支援施設であることから、コミュニケーション支援や行動上の課題に対する支援、生産活動やレクリエーション、運動を通しての健康の維持向上をおもな支援サービス内容としています。特に障害特性と固有の適性に応じた環境整備をすることにより、施設においてより快適に過ごせるように、また、常に利用される方のニーズをみとすようにサービスの幅を広げるなど、現在から未来にわたるニーズ充足の実現を目指したいと考えています。

### 3. 最後に

これまで「知的障害者通所授産施設」というひとつのサービスだったものが、このふたつの事業として分かれたことにより、ニーズや課題がより明確になり、必要な方に必要な支援の提供が可能となりました。当法人中期計画にも盛り込まれておりますが、将来的にこのふたつの事業のほかにも就労継続事業を新たに開始し、これらの事業を有機的に連携させながら利用者の皆さんに活用していただけるようにしてまいります。



# 掲 示 板 コ ー ナ ー

(平成 19 年 3 月から平成 19 年 5 月まで)

## 法人本部 総務部 掲示板

3 月 2 日	経営会議	シンポジウム
14 日	運営会議	「支援をつなぐ～点の支援から面の支援へ～」
17 日	アクトおおさか 5 周年記念講演会 〔プログラム〕	閉会挨拶
	挨拶 社会福祉法人 北摂杉の子会	社会福祉法人 北摂杉の子会 常務理事 松上 利男
	理事長 中村 節史	30 日 運営会議
	大阪府健康福祉部 医療監 高山 佳洋氏	4 月 7 日 法人研修会
	記念講演会	①業務貢献・資格取得表彰
	「自閉症スペクトラムへの支援～今後の方向性～」	②研修 1) 中期計画 (第 2 次 5 ヶ年計画)
	川崎医療福祉大学教授 佐々木 正美氏	平成 19 年度 年度方針について
	実践報告 アクトおおさかのめざしてきたこと	理事長 中村節史
	アクトおおさかセンター長 新澤 伸子	2) 各部 19 年度事業計画、中期計画
	就学前通園施設の実践	各部長・施設長
	こどもデイケアいずみ	24 日 運営会議
	澤井真理氏・田之上晶子氏	5 月 22 日 運営会議
	養護学校での取り組み	監事監査 川浪監事 吉田監事
	大阪府立吹田養護学校 小学部主事	27 日 第 42 回理事会・第 22 回評議員会
	佐竹 英信氏	決議事項第 1 号議案
	成人入所更生施設の実践	法人・施設 事業報告の件
	金剛コロニーすぎのき寮	第 2 号議案
	主査 大中より子氏	法人・施設 決算の件
	アクトおおさかのこれから	(安原 記)
	主任 高橋 亜希子	

## 萩の杜 掲示板

3 月 1 日	中期計画策定会議 (萩の杜)	20 日	歯科検診 / 部長・主任会議・BC グループミー
5 日	避難訓練、部長主任会議		ティング
6 日	歯科検診、生活支援係り会議	26 日	ケース会議
7 日	精神科相談	27 日	歯科検診
9 日	旅行委員会、勤務表作成ミーティング	28 日	精神科相談、旅行委員会
10 日	B グループ研修会	29 日	部長・主任会議、地域移行支援センター会議
13 日	歯科検診、ショートステイ会議	30 日	余暇委員会
16 日	旅行 (神戸フルーツフラワーパーク)	4 月 3 日	歯科検診
19 日	AD グループミーティング	4 日	勤務表作成ミーティング



- |       |                    |     |                       |
|-------|--------------------|-----|-----------------------|
| 5日    | 防災点検（消防署立ち入り検査）    | 9日  | 精神科相談                 |
| 9日    | ADグループミーティング       | 10日 | 利用者健康診断               |
| 10日   | 歯科検診、生活支援係り会議      | 11日 | 部課長・主任会議              |
| 17日   | 精神科相談、BCグループミーティング | 14日 | 生活支援係り会議、居宅支援事業所準備室会議 |
| 24日   | 歯科検診、余暇委員会         | 15日 | 歯科検診                  |
| 26日   | 居宅支援事業所準備室会議       | 22日 | モデル施設サポート事業           |
| 27日   | 部課長・主任会議           | 23日 | 精神科相談                 |
| 30日   | 勤務表作成ミーティング        | 24日 | 利用者健康診断               |
| 5月 1日 | 歯科検診、マニュアル検討委員会    | 25日 | 地域移行支援センター会議          |
| 7日    | 旅行委員会              | 29日 | 部課長・主任会議              |
| 8日    | 歯科検診               | 30日 | 余暇委員会                 |

## ジョブサイトひむろ掲示板

- |        |   |                |  |
|--------|---|----------------|--|
| 3月 13日 | エアロビクス①グループ   | うございました。       |  |
| 16日    | 家族会定例会<br>労働支援課会議   | 4月見学者（来所者）3組8名 |  |
| 19日    | エアロビクス②グループ   | 5月 7日          | 新利用者大泉浩さん、竹田信二さんが入所されました。  |
| 21日    | 祝日開所日<br>ジョブサイトひむろ利用者と萩の杜利用者が<br>出勤されました。   | 8日             | エアロビクス①グループ  |
| 26日    | エアロビクス③グループ   | 10日            | 萩の杜利用者検診（なかじま診療所）  |
| 29日    | 火災避難訓練  | 11日            | ジョブサイトひむろ会議  |
| 31日    | 開所日<br>ジョブサイトひむろ利用者レクリエーション<br>亀岡運動公園までマイクロバス等でお出かけま<br>した。<br>32名参加されました。<br>※3月ボランティア2名延べ29日ありがと<br>うございました。<br>3月見学者（来所者）7組17名 | 15日            | エアロビクス②グループ  |
| 4月 2日  | 新利用者藤木裕也さんが入所されました。   | 17日            | 療育グループ①レクリエーション<br>淀川河川敷にてお弁当の昼食や運動を楽しみ<br>ました。  |
| 13日    | 労働支援課会議   | 21日            | 療育グループ②レクリエーション<br>淀川河川敷にてお弁当の昼食や運動を楽しみ<br>ました。  |
| 16日    | 家族会総会   | 24日            | 萩の杜利用者検診（なかじま診療所）  |
| 27日    | 新利用者岩隆文さんが入所されました。<br>※4月ボランティア2名延べ27日ありがと  | 28日            | 陶芸グループ①レクリエーション<br>TOHO シネマズにて映画を観賞しました。<br>※5月ボランティア1名延べ4日間ありがと<br>うございました。<br>5月見学者（来所者）1組3名<br>(平野 記) |

## 自閉症支援部掲示板

- |              |                              |                          |
|--------------|------------------------------|--------------------------|
| 3月 24日       | 自閉症支援部会<br>平成18年度自閉症支援部各事業報告 | 豊能町教育委員会巡回相談（小学校 計2回）    |
| ○大阪自閉症支援センター | 保護者研修（基礎・実践Ⅰ・実践Ⅱ）各月1回実施      | 枚方市教育委員会巡回相談（幼稚園 計4回）    |
|              |                              | 和泉市教育委員会巡回相談（小学校 計1回）    |
|              |                              | 研修会・講演会への講師派遣（大阪府八尾保健所、高 |

槻市手をつなぐ親の会、大阪市西区社会福祉協議会、  
加古川市立陵南公民館連続講座)

小・中学校、枚方市小学校、四条畷市小学校、  
府立富田林養護学校、府立高槻養護学校、金  
剛コロニーかしのき寮、第2自立センターど  
んまい、和泉の里)

(新澤 記)

### ○アクトおおさか

- 3月 1日 大阪府発達障害団体ネットワーク運営委員会  
(事務局担当)
- 10日 発達障害者支援センター全国連絡協議会近畿  
ブロック会(於ジョブサイトよど)
- 17日 アクトおおさか開設5周年記念事業(講演会)  
開催(420名参加)
- 26日 大阪府発達障害支援体制整備委員会出席
- 4月 11日 アクトおおさか事務所移転(大阪市淀川区  
十三東)
- 13日 大阪府発達障害職業訓練検討会出席
- 5月 23日 大阪府発達障害者支援センター連絡協議会出席
- 25日 大阪府発達障害職業訓練検討会出席
- 31日 大阪府発達障害団体ネットワーク平成19年  
度総会・第1回ネットワーク会開催(テーマ:  
放課後支援のあり方～親の会が取り組んでい  
ること～)(事務局担当)
- 巡回相談(こどもデイケアいずみ、東大阪市  
療育センター、東大阪市小学校、河内長野市

### ○児童デイサービスセンター an

保護者研修(入門・実践・応用講座)月一回

3月 10日 児童デイの契約会(新規・継続児対象)

4月 9日 療育開始

25日～5月2日

個別支援計画ミーティング実施

### ○自閉症療育センター will

保護者研修6月～3月(入門A/B-H18年度療育児の保  
護者対象)

(実践講座-H17年度の療育児の保護者対象)

3月 10日 新規療育希望者説明会 エルおおさか(200名)

20日～22日 療育受理抽選会・合否通知発送

27日～5月28日 発達検査実施

4月 16日 新規療育児説明会(59名全児対象)

5月 18日 児童デイの契約会(全児対象)

(谷岡 記)

## ジョブサイトよど掲示板

3月 5日 支援員会議

6日 ジョブジョイントおおさか会議

12日 給食会議

19日 支援員会議

26日 Jランチ開始

4月 9日 支援員会議

16日 給食会議

17日 ジョブジョイントおおさか会議

23日 支援員会議

5月 1日 新事業移行開始

7日 支援員会議

21日 給食会議

支援員会議

25日 避難訓練

29日 見学会 ポレポレネットワーク

31日 利用説明会

(佐々木寛 記)

## 萩の杜家族会掲示板

3月 9日 ホットトーク 松上施設長と母親の懇談

11日 新旧役員会 20名 新役員の担当を決める

11日 イオン幸せの黄色レシートキャンペーン 高槻

12日 サークル萩

15日 茨木養護学校物品販売

18日 高槻クロスカントリー大会 物品販売

22日 サークル萩

25日 高槻カトリック教会 花販売

4月 1日 定例会(3月分)

会員20名 松上統括施設長、河坂施設長出席

・総会準備について、その他

・法人人事および職員人事について

・障害程度区分の結果について

9日 サークル萩

- |       |   |     |  |
|-------|---|-----|--|
| 22日   | 定期総会 41名(うち委任状11名)<br>松上統括施設長、河坂施設長、中村理事長 出席<br>・平成18年度活動報告、会計報告、19年度<br>役員選出<br>・平成19年度事業案および予算案、審議の<br>上可決<br>・法人中期経営方針について(中村理事長)<br>・平成19年度萩の杜事業計画について<br>(松上統括施設長) | 11日 | イオン幸せの黄色レシートキャンペーン<br>茨木・高槻  |
| 22日   | 高槻カトリック教会 花販売   | 14日 | サークル萩  |
| 26日   | サークル萩   | 17日 | 茨木養護学校物品販売   |
| 26日   | 広報部機関誌発送手伝い   | 18日 | ホットトーク<br>河坂施設長・下課長と母親との懇談   |
| 29日   | 茨木あつまれボランティアバザー   | 24日 | サークル萩  |
| 5月 4日 | ふれあいセール   | 27日 | 定例会 22名 河坂施設長出席<br>・環境整備(6/10草刈り)について<br>・団体傷害保険加入について<br>・職員新体制について その他 |
|       |   | 27日 | 高槻カトリック教会 花販売<br>(深尾 記)  |

## ジョブサイトひむろ家族会掲示板

- |        |  |   |
|--------|--|---|
| 3月 16日 | 定例会 ①次期役員体制について<br>②借入金返済状況について<br>③会費自動引き落としについて<br>④新年度新利用者について    | 以上の案件が承認され、引き続き法人の経営方針及び施設の計画などの説明を受け無事総会が終了しました  |
| 27日    | 役員会 総会議案書の内容検討チェック   |   |
| 4月 3日  | 役員会 総会議案書製本と総会案内の発送  | 5月 28日 役員会 ①利用者・職員の動き<br>②個別支援計画の立案と面談について<br>③居宅支援事業及び新事業体系への移行後について                       |
| 16日    | 定期総会 ①18年度事業・決算報告<br>②19年度事業・予算計画の件<br>③家族会費自動引き落としの件<br>④19年度役員承認の件 | 法人理事会・評議員会 3月25日・5月27日<br>沖本会長・豊澤副会長が出席<br>将来構想検討委員会 3月14日・4月17日・<br>5月23日 沖本会長出席<br>(沖本 記) |

## 北摂杉の子会後援会掲示板

### 〈行事〉

- ・第7回(2007年度)定例役員会を開催(議事録抜粋)
- 日時)2007年5月12日(土) 15:00~16:00
- 場所)ジョブサイト(JS)ひむろ
- 出席者)後援会:役員全員が出席(8名;2名は委任状)
- 相談役:3名が出席

### 1. 2006年度の活動

#### 1) 会員数

個人会員 ;575名、団体会員 ;19団体、  
合計 ;594名 / 団体

#### 2) 後援会費及び寄付

後援会費 ;140万円、寄付 ;64万円、合計 ;204万円

#### 3) 経緯

- ・法人への寄付  
2006年5月に250万円を寄付(「JSよど」の運転資金として使用)
- ・法人・施設と取引のある業者に対して、団体会員への入会をお願い
- ・個人、団体会員に会費納入をお願い



## 2. 2006 年度の収支と会計監査報告

### 1) 収入

前期繰越金：2,802,127 円、寄付金：643,684 円、  
後援会費：1,398,000 円、受取利息：61 円、  
収入合計：4,843,872 円  
(今年度の収入：2,041,745 円)

### 2) 支出

事務費：3,300 円、通信費：15,600 円、雑費：20,150 円、  
法人への寄付：2,500,000 円、  
支出合計：2,539,050 円

### 3) 次期繰越金

2,304,822 円 (2007 年 3 月 31 日現在)

上記について柏原監査役の会計監査を受け、適正に  
運用されていることが確認されたことが、会計から報  
告された

## 3. 2007 年度の活動計画

### 1) 法人への寄付

寄付の用途について松上常務理事から説明があり、  
異議なく了承された

(230 万円：「萩の杜」の空調設備修理費の一部に充  
てる)

### 2) 後援会員の整理と資金計画

・退会希望者などがあったため、個人及び団体会員の

整理を行った

今年度の会員数は、個人会員：503、団体会員：17、  
合計：524 名 / 団体

・資金計画→後援会費、寄付、その他で 184 万円の収  
入を目標にする

### 3) 住宅紹介制度 (セキスイハイム)

今年度も継続する

## 4. その他

・現後援会役員、相談役、監査役は、今年度も留任する  
・今年度から、「JS よど」家族会会長の福田啓子氏が相  
談役に就任されます

## 〈近況報告〉

### ・4 月末

個人会員：516 名

団体会員：17 団体 合計：533 名 / 団体

### ・5 月 18 日 法人への寄付を実施

### ・5 月末

個人会員：544 名

団体会員：18 団体 合計：562 名 / 団体

### ・6 月末

個人会員：551 名

団体会員：18 団体 合計：569 名 / 団体

(棚山 記)

## ジョブサイトよど家族会掲示板

3 月 1 日 大阪府発達障害団体ネットワーク運営委員  
会で、100 円喫茶実施。

5 日 家族会役員会開催。100 円喫茶実施。

8 日 オアシス役員会で、100 円喫茶実施。

13 日 十三市参加。

3 月家族会定例会開催。会員 22 人参加。

一年間の反省会とフリートークをしました。

100 円喫茶実施。

17 日 アクト大阪 5 周年記念講演会に役員参加。

25 日 北摂杉の子会理事、評議委員会 河端、福田  
参加。

28 日 3 役臨時役員会開催。地域啓発について  
十三連合振興町会会長宅、十三東 2 丁目振興町  
会長宅商店街 3 組合会長 時代屋、ハヤシ薬局、  
水上包装店に発達障害のご理解とご支援のお  
手紙を持って地域啓発のお願いの為訪問。  
(会長、副会長 2 名、会計)

4 月 2 日 家族会役員会開催。100 円喫茶実施。

12 日 家族会会計監査実施。

13 日 十三市参加。

19 年度総会開催。会員 24 人参加。

松上統括施設長に理念「地域に生きる」講義  
を受けました。100 円喫茶実施。

26 日 オアシス副会長和泉歯科医師に家族会から、  
歯科検診依頼。

利用者 16 名歯科検診受ける。

5 月 7 日 家族会開催。100 円喫茶実施。

13 日 十三市参加。

27 日 北摂杉の子会理事、評議委員会 河端、福田  
参加。

28 日 オアシスサロンで、100 円喫茶実施。

淀川警察署生活安全課に 7 月定例会勉強会の  
講師依頼訪問。

(会長、副会長 2 名)

(福田 記)

## 大阪自閉症支援センターを発展させる会 オアシス 掲示板

- |   |  |
|---|--|
| <p>3月 1日 大阪府発達障害団体ネットワーク運営委員会<br/>(会長・前会長)</p> <p>2日 学習会「困っちゃった Part2」(研修委員会)<br/>於：大阪市西区在宅サービスセンター会議室<br/>7名参加</p> <p>4日 就労体験(学齢委員会)<br/>会員児がいるか通信発送作業を手伝う<br/>7名参加</p> <p>5日 いるか通信発行(広報委員会)<br/>印刷はジョブサイトよどへ委託</p> <p>6日 「ホットメールなにわ」出席(会長・副会長)<br/>於：浪速青少年会館</p> <p>8日 新旧役員会</p> <p>10日 おやじの会 例会「おやじの会来し方行く末」</p> <p>11日 就労体験(学齢委員会)<br/>会員児がいるか通信発送作業を手伝う<br/>7名参加</p> <p>16日 大阪市発達障害者支援センター訪問(会長)</p> <p>17日 アクトおおさか開設5周年記念事業出席<br/>於：クレオ大阪北<br/>(会長・副会長・前会長)</p> <p>25日 北摂杉の子会 理事評議委員会出席<br/>(前会長・相談役)</p> | <p>31日 大阪市西区社会福祉講演会参加<br/>(会長・前会長)<br/>於：大阪市西区在宅サービスセンター会議室</p> <p>4月 14日 新旧役員会・懇親会</p> <p>20日 総会資料発送</p> <p>21日 おやじの会 4月例会「おやじはゆく」</p> <p>23日 「オアシスサロン」打ち合わせ</p> <p>26日 いるか通信編集会議(広報委員会)</p> <p>27日 会員へ各種案内を発送</p> <p>5月 6日 通常総会</p> <p>10日 オアシスパフレット編集会議(広報委員会)</p> <p>14日 「ホットメールなにわ」出席(会長・副会長)<br/>於：浪速青少年会館</p> <p>19日 おやじの会 5月例会 東大阪でへへクラブ<br/>講演会参加・懇親会</p> <p>28日 「オアシスサロン」26名参加<br/>(うち4名は会員外)</p> <p>31日 大阪府発達障害団体ネットワーク<br/>総会&amp;第1回ネットワーク会<br/>第1回ネットワーク会「放課後支援のあり方」<br/>(会長・副会長・前会長・役員)<br/>於：ドーンセンター・大会議室②</p> |
|---|--|

(南木 記)

### お知らせ

法人ホームページの一部リ  
ニューアルを8月中旬をめど  
に予定しております。

法人常務理事・松上利男の  
時事コラムのコーナーも始ま  
ります。

まだ全面リニューアルには  
いたりませんが、一度ぜひの  
ぞいてみてください。

<http://suginokokai.com> (アド  
レスの変更はございません)

### 新しいページのイメージ



□法人へのご寄付に感謝します (2007年4月3日～2007年7月10日)

池田 美保子 濱田 誠治 保田 茂 長岡 功 横井 誠司 小山 英夫 社会福祉法人北摂杉の子会後援会 宮本 東雨 長尾 京子 医療法人健珠会田泌尿器科クリニック

□後援会ご入会と会費納入に感謝します (2007年2月23日から2007年6月22日)

下川都志子 上里弘子 井桁友紀枝 垣本寿也子 坂井恵美子 嶋田輝美 野口みち子 鹿子木 勉 池田秀幸 池田満智子 秋永香織 秋永 隆 朝倉千涼 東 敬司 阿部倫子 新井清也 荒川 睦 荒木洋子 有田和弘 池下貞子 池田美保子 池田好子 石田卓司 和泉和子 井田 進 岩井光男 岩井谷子 浦吉仁美 浦吉フミ 榎本貴夫 太田典子 太田 実 小沢福子 甲斐田美智子 梶井英二 甲木和子 甲木 翠 加藤 浩 角谷慶子 加茂明男 北爪隆子 北爪敏雄 北爪紀子 北出幸代 (法橋周二いとこ会) 木下信男 具志堅郁子 具志堅 進 黒澤和子 河野みゆき 小柴義春 小林伸次 小林真理子 小林泰弘 小林善浩 小山英夫 近藤 勝 阪口 攻 坂口 誠 笹井八郎 佐竹公也 佐藤和男 佐藤敏子 佐藤由美 澤田博美 清水吉男 白倉俊雄 新開健治 新川 彰 新谷 敦 杉本直樹/大阪府立高槻養護学校 鈴木都美 関 隆志 関 正弘 関 喜子 副島雄彦 高島鴻志 高島美津子 高田眞行 高原加代子 高原正義 高原由江 田口道代 谷村剛史 田部純史 辻本益幸 出口幸平 篤田晴子 登間佐孝男 富田カズミ 豊澤 進 中島勝司 中西 弘 長濱美智代 中村 潤 中村四葉 中村忠雄 西坂徹雄 西田源太郎 西原香織 西原圭一 西原清二 西原尚志 西原律子 八里さだ 濱田誠治 浜田由美子 林 堅一 樋野隆俊 平瀬武明 平田登代子 平田 実 平林弘子 深尾彰彦 福井 務 福島美紀 福原温子 福原龍彦 福本美紀 藤井弘子 藤木裕也 藤崎靖之 藤下 樹 降幡 恵 (法橋周二いとこ会) 細田寛容 堀川浩二 本田成美 本田千秋 本田文江 前田直俊 前田浩子 増田 博 松上文子 松本範雄 水谷英明 宮崎慶子 村上雅子 村山宣明 森田幸子 森 洋見 森本忠徳 森 泰雄 森 芳春 門口映子 山口秀子 山口 博 山根文男 山下隆司 山田千明 山根生江 山根民子 山根裕史 吉田勢蔵 渡辺洋子 佐々木サツキ 安部文博 安部晶巳 井上誠子 今村聡之 今村暢也 大野昭彦 大野捷昭 大野晴夫 大野博夫 大野博美 柄須賀咲智子 沢田幸子 沢田良造 平山寿美子 松井 潔 山内千鶴子 粟飯原みき子 安部勢津子 安部美和 飯塚信一 飯塚むつみ 今村一二三 今村圭子 宇澤聡子 大平久子 小川敏夫 小川祥子 沖本公郎 沖本淳子 沖本 太 沖本美公子 柏原孝幸 柏原恵智子 柏原紀男 軽込 昇 川田紀久夫 北畑弘一 佐藤 茂 高木千榮子 田口敦夫 田口和人 田口容子 田寺文子 田寺雅幸 谷川百合 土田美智子 中村悦子 中村豪史 中村哲史 中村義昭 新田利秀 長谷川ひろみ 馬場初子 松岡洋市 梁 恵子 梁 典雄 梁 桃子 山尾朝子 山尾郁保 山尾壮志 山口賢次 山口文子 吉田保子 (㈱安全食品流通センター 伊丹産業) 高槻工場 (㈱)一進建設 有限会社 ウィズグリーン 共和運輸(株) 高槻市教職員組合 中央フードサービス(株) 自閉症の人のパビリオンを考える親の会 はぐくみ 橋本紀子 (高槻市教職員組合)

□後援会へのご寄付に感謝します (2007年2月23日から2007年6月22日)

鈴木孝雄 渡辺信枝 梶井英二 ボランティアグループ“かたつむり” 矢橋 文 田中あつお 棚山薫晴 甲斐田美智子 萩原 清 小倉襄二 八木八郎 蘆田康子 田口敦夫 橋川靖子 小山英夫 雀部昌子 新川カツエ 久保いずみ 中村央樹 匿名 様 棚山薫晴

□家族会へのご寄付に感謝いたします (2007年4月1日～7月22日)

ほかほか弁当園田店 岡本 不二園芸 松岡 植松 本田 長尾

□物品のご提供に感謝いたします (2007年4月1日～7月22日)

荒木 吉田美保子 梶原明子 成田敬子 下川 隆子 元村 山口多恵子 田中節子 滝本 大黒千智子 二見 野村 上原豊子 梶原明子 福原さよ子 金谷未子 吉田みほ子 津田恵子 堀 裕子 永沼 幸子 古賀 小塚 幸江 長尾 荒木 西岡 中瀬 野村 仲出 長井美代子 南野 浜田 幸子 田中節子 榎本 貴夫

□ボランティアに感謝いたします (2007年4月1日～7月22日)

岡本敦子 佐々木 坂井恵美子 ほかほか弁当園田店 松木咏子 不二園芸

(敬称略 順不同)

## 寄付と後援会入会のお願い

記

社会福祉法人「北摂杉の子会」後援会の趣旨に賛同され、ご支援して下さる方々の寄付及び後援会への入会をお願い申し上げます。寄付金と後援会費は法人を支援するための資金とさせていただきます。

お振込みは右記口座まで、もしくは、同封の振込用紙をご利用下さい。皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。

- ◆ 1. 寄付金 円
- ◆ 2. 個人会員 年間一口 2,000円
- ◆ 3. 団体会員 年間一口 10,000円
- ◆ 郵便振込口座 北摂杉の子会 00920-8-90859

□ 社会福祉法人 北摂杉の子会 法人本部  
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1 (萩の杜内)  
TEL (072) 699-0099 FAX (072) 699-0130  
[E-Mail] info@suginokokai.com  
[URL] http://www.suginokokai.com

□ 知的障害者生活施設 萩の杜  
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1  
TEL (072) 699-0099 FAX (072) 699-0130  
[E-Mail] haginomori@suginokokai.com

□ ショートステイセンター ふれす  
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1  
TEL (072) 699-0099 FAX (072) 699-0130  
[E-Mail] breath@suginokokai.com

□ グループホーム とんだ  
〒569-0814 高槻市富田町5-13-14 101号室

□ ケアホーム みやた  
〒569-1142 高槻市宮田町3-4-1 105号室

■ 高槻市障害者地域移行支援センター だ・かーぼ  
〒569-1141 高槻市氷室町3-20-10  
TEL (072) 690-5221 FAX (072) 690-5227  
[E-Mail] da-capo@suginokokai.com

□ 知的障害者通所授産施設 ジョブサイトひむろ  
〒569-1141 高槻市氷室町1丁目14-27  
TEL & FAX (072) 697-2234  
[E-Mail] himuro@suginokokai.com

■ 生活支援センター あんだんて  
〒569-1141 高槻市氷室町1丁目14-27  
TEL (072) 697-2233 FAX (072) 697-2234  
[E-Mail] andante@suginokokai.com

■ 大阪府発達障害者支援センター アクトおおさか  
〒532-0023 大阪市淀川区十三東3丁目18-12  
イトウビル1F  
TEL (06) 6100-3003 FAX (06) 6100-3004  
[E-Mail] act-osaka@suginokokai.com

□ 自閉症療育センター will  
〒569-0077 高槻市野見町3-14 第2高谷ビル2F  
TEL (072) 662-0100 FAX (072) 662-0056  
[E-Mail] will@suginokokai.com

□ 知的障害者通所授産施設 ジョブサイトよど  
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号  
TEL (06) 6838-7007 FAX (06) 6838-7015  
[E-Mail] yodo@suginokokai.com

□ 大阪自閉症支援センター  
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号  
TEL (06) 6838-8990 FAX (06) 6838-7015  
[E-Mail] o-center@suginokokai.com  
[URL] http://oasc.jp

□ 児童デイサービスセンター an  
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号  
TEL (06) 6838-8990 FAX (06) 6838-7015  
[E-Mail] an@suginokokai.com [URL] http://oasc.jp

※■は行政よりの委託事業

発行人 社会福祉法人北摂杉の子会 理事長 中村節史  
発行日 2007年7月10日

発行所 北摂杉の子会 住所 大阪府高槻市大字萩谷14番地1

